

複数施設研究用

## 研究課題「名古屋腎臓マルチオミクス解析コンソーシアム(NNMAC)」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

本研究は以下の3つのいずれかにあてはまる方を対象とします。

- (1) 本研究実施承認日から2031年3月31日までに、名古屋大学医学部附属病院または後述の別表1の共同研究機関を受診され、下記の【対象項目】に該当し、研究課題「名古屋腎臓マルチオミクス解析コンソーシアム(NNMAC)」の説明を受け文書で参加の同意をされた方
- (2) 名古屋大学医学部附属病院または後述の別表1の共同研究機関を受診された方のうち、下記の【対象項目】に該当し、オプアウトの機会を保障したうえで、通常の診療で得られる臨床情報(既存情報)のみを使用する方
- (3) 名古屋腎臓病研究コンソーシアム(NNRC:Nagoya Nephrology Research Consortium)、名古屋腎臓病総合レジストリー(N-KDR:Nagoya Kidney Disease Registry)、名古屋大学腎臓病遺伝子解析レジストリー(N-KDRG: Nagoya Kidney Disease Registry-Gene analysis)、オミクス解析が解き明かす腎臓病といった既存の研究において検体の二次利用に文書で同意されている方

#### 【対象項目】

- ・ 腎疾患を有する方
- ・ 末期腎不全などで腎臓移植を受ける方
- ・ 腎癌等により腎臓摘出術を受ける方
- ・ 末期腎不全で透析療法を受けている方
- ・ 腎臓病を引き起こす可能性をもつ疾患(糖尿病、リウマチ性疾患、膠原病、膠原病類似疾患、高血圧症、動脈硬化性疾患、脂質異常症、泌尿器科疾患)を有する方
- ・ 腎障害が顕在化する以前の腎障害進展リスクを有する関連疾患を有する方

研究の対照として、上記(1)~(3)に加えてポスター掲示やホームページ上での公募などにより協力が得られた、上記【対象項目】に該当しない方も含みます。

### 2. 研究目的・方法・研究期間

腎臓病の治療は大きく進歩していますが、その効果には限界があり、また一度進行すると悪くなることを防ぐのは難しいのが現状です。マルチオミクス解析というのは人体を構成するいろいろなレベルの分子を一度に調べる手法のことで、近年盛んに行われており、新しい発見がどんどん生

まれています。腎疾患の原因を解明し新しい診断法や治療法を開発するためには、その基盤となる疾患登録が必要です。本研究では、腎疾患および関連疾患を広く登録することを目的とします。この研究により腎臓病のより深いメカニズムの解明、診断方法の確立、新たな治療手段の開発を目指します。本研究の趣旨をご理解いただき、研究にご参加下さるようお願い申し上げます。

<研究期間>

本研究実施承認日から 2032 年 3 月 31 日まで

長期予後を追跡するため、研究期間は延長される可能性があります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：本研究に登録する項目は通常の診療で得られる臨床情報(既存情報)です。試料：通常の診療に伴って得られた検体(血液・尿・腎組織)の一部を研究のために採取させていただきます。血液と尿に限っては研究のために採血・採尿をお願いする場合があります。

試料の利用目的：研究項目の測定、DNA・RNA の解析、プロテオミクス、メタボロミクス、エクソソーム解析、顕微鏡による観察を目的として、情報・検体の収集、検体の処理(白血球分離や血清保存、DNA・RNA 抽出等)、データ登録、データクリーニング、データセットの作成を行います。これらのデータを必要とする新たな個別研究の必要が生じた場合には、新たに研究計画を作成し、倫理委員会の承認を得た上で情報公開を行い、オプトアウトの機会を提供します。また、ご同意いただければ、「名古屋腎臓マルチオミクス解析コンソーシアム(NNMAC)」に登録された情報・試料は匿名化され、本研究に関連の深い既存の「名古屋大学腎臓病総合レジストリー(N-KDR:Nagoya Kidney Disease Registry(承認番号 2010-1135))」にも提供され、関連する研究にも利用させていただきます(倫理審査委員会の承認を経て研究内容が追加されることがありますが、研究内容を公開してオプトアウトの機会を保障いたします)。

4. 外部への試料・情報の提供

提供頂いた試料は匿名化した上、名古屋大学医学系研究科に郵送され、解析が行われます。データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、各機関の研究責任者が保管・管理します。また、一部の項目の測定については検体を匿名化したうえで外部委託先(タカラバイオ株式会社、Active Motif 社、macrogen 社、KOTAI バイオテクノロジー株式会社、株式会社 Rhelixa)および別表2に記載した共同研究機関に委託する可能性があります。同意取得時には特定できない研究にかかわる新たな外部委託先が生じた場合には、新たに生命倫理申請を行い、承認を得た上で情報公開を行いオプトアウトの機会を設けます。得られたデータは東京大学のスーパーコンピュータ(SHIROKANE)を用いて解析することがあります。

5. 研究成果の公表、公共データベース(レポジトリ)への登録について

研究の成果は、研究参加者本人の氏名などが明らかにならないようにした上で、学会や学術雑

誌等で公に発表されることがあります。また得られた解析情報は、個人が特定できない状態で、DNA Data Bank of Japan (DDBJ)、アメリカ国立生物工学情報センター (NCBI)、European Bioinformatics Institute (EBI) などの外国を含む公共データベースに登録される可能性があります。NCBI のデータベースには日本を含めた世界中の研究所が作成した解析データが集められて公開されており、医学研究を加速させるために用いられます。またこのデータの公開は、論文等で公表した解析がきちんとした方法で行われ、再現性があることを示すためにも必要な措置とされています。一度公表された情報は、その後に研究参加の同意を撤回された場合も削除しかねます。

## 6. 研究組織

### (1) 名古屋大学内

所属	職名	氏名
名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座腎臓内科学	教授	丸山 彰一
名古屋大学大学院医学系研究科附属神経疾患・腫瘍分子医学 研究センター腫瘍病態統御部門	教授	鈴木洋

(2) 共同研究機関 別表1, 2の通りです。

## 7. 本研究に関する追加情報等について

下記 URL をご覧ください。

<https://www.nagoya-kidney.jp/nnmac-study-outline>

## 8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座腎臓内科学  
〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 TEL: 052-744-2192

研究代表者(研究責任者):

名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座腎臓内科学 教授 丸山彰一

## 【当院の問合せ先】

中東遠総合医療センター 腎臓内科 部長 稲垣浩司

電話:0537-21-5555

別表 1 共同研究機関

所属	研究責任者	氏名
春日井市民病院	院長	成瀬 友彦
偕行会城西病院	副院長	石川 英昭
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	腎臓内科部長	安田 香
朝日大学病院	腎臓内科診療部長教授	山本 順一郎
中東遠総合医療センター	腎臓内科部長	稲垣 浩司
愛知厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院	腎臓内科代表部長	倉田 久嗣
大垣市民病院	副院長	傍島 裕司
安城更生病院	腎臓内科代表部長	遠藤 信英
豊橋市民病院	腎臓内科副部長	渡邊 智治
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院	腎臓内科部長	齋藤 尚二
刈谷豊田総合病院	腎臓内科部長	伊藤 岳司
市立四日市病院	腎臓内科部長	坪井 俊樹
県立多治見病院	腎臓内科主任医長	杉山 豊
名古屋記念病院	腎臓内科部長	立松 美穂
一宮市立市民病院	腎臓内科部長	新田 華代
江南厚生病院	第二腎臓内科部長	道家 智仁
公立陶生病院	腎臓内科主任部長	稲葉 慎一郎

別表2 共同研究機関

所属	職名	氏名
慶應義塾大学先端生命科学研究所	准教授	平山 明由